



関宮学園

学校だより 12号

R7.6.9

校訓「敬・愛・信」

トライやる・ウィーク

6月2日(月)~6日(金)、8年生が次の事業所で活動を行いました。詳細は本校ホームページをご覧ください。

パークホテル白樺館	道の駅ようか但馬蔵
浜田モーターズ	関宮郵便局
公立八鹿病院	関宮こども園

この他、多くの事業所から生徒を受け入れる旨ご回答をいただいたのですが、今年度は生徒数が少なく、学校からお断りすることになってしまいました。誠に申し訳ありませんでした。

5月30日(金)の出発式の際に、子どもたちに伝えた激励の言葉を紹介します。



いよいよトライやる・ウィークが始まります。ところで、なぜ、トライやる・ウィークという名前がついたのでしょうか。トライやる・ウィークのトライにはどのような意味が込められているか知っていますか? 「やってみる」とか「挑戦する」という意味があります。活動にあたって、弁当や服装など、持ち物を確認しました。一番忘れてはいけないのは、「挑戦する気持ち」「やる気」です。挑戦する5日間にしましょう。

トライには、別の意味もあります。それはトライアングルのトライです。皆さんはトライアングルという三角形の楽器を知っていますね。トライアングルには、三角形のものという意味があって、トライやる・ウィークの場合、学校、家庭、地域の三者で、皆さんを育もうということです。

そこで、皆さんにお願いしたいことがあります。まず、地域です。地域の中で、地域の人からしっかりと学ぶということです。普段「トライやる・ウィーク」と呼んでいますが、兵庫県のホームページなどには「地域に学ぶトライやる・ウィーク」と書いてあり、「地域に学ぶ」という言葉が入っています。学校では体験できないことを地域の中で学んでください。次に家庭です。お家の方にトライやる・ウィークの話をしてください。お家の方と会話することで、一日の体験のふりかえりができ、活動がより一層深まるはずですよ。

慣れない環境での5日間になります。安全、健康に留意して活動しましょう。次に皆さんに会えるのは6月9日です。一回り成長した皆さんの姿を楽しみにしています。

自然学校

6月2日(月)～6日(金)の4泊5日、5年生が次の活動を行いました。この活動は、高柳、八鹿、伊佐、宿南小と連合で行うことが特徴です。1学年1学級の本校では経験できない仲間との交流ができました。

- | |
|---|
| 2日(月) 竹野スノーケルセンターで自然・磯観察 |
| 3日(火) 円山川公苑でカッター・カヌー・カヤック |
| 4日(水) あけのべ自然学校で火起こし 野外炊飯
ウォークラリー キャンプファイヤー |
| 5日(木) 氷ノ山登山 |
| 6日(金) 明延坑道探検 鉱石拾い 焼き板づくり |

視覚(見る)、聴覚(聴く)、味覚(味わう)、嗅覚(嗅ぐ)、触覚(皮膚で感じる)の五感で自然を感じました。

初日は竹野海岸での活動でした。山々の自然豊かな関宮に住んでいるため、海の体験は得がたいものです。関宮とは違った自然を感じることができました。

2日目は川の体験です。円山川で自然と共生するスポーツ体験ができました。カッターは10人以上で乗船します。仲間と力を合わせないと進みません。みんなで力を合わせカッターが進み始めたときの感動は子どもたちの財産になったはずです。

3日目のテーマは火です。朝は、舞hiri式で火起こしにチャレンジしました。10班中1班しかつきませんでした。普段、スイッチ一つで使っている火の有り難みがわかったのではないのでしょうか。その後は、野外炊飯です。カレーライスをつくりました。自分たちでつくった食事は、格別の味でした。夜は、火の恵を享受するキャンプファイヤーでした。夜を照らす光の中、ゲームを楽しみつつ、自然や仲間と一体となりました。

4日目の氷ノ山登山は養父市の自然を知る絶好の機会です。養父市で学んでいるからこそ、養父市の誇る自然を体験してほしいという願いがあります。快晴のもと、兵庫県最高峰から見る絶景を楽しめました。

最終日は、坑道探検をとおして、明延の歴史を知ることができました。鉱物も自然の恵みであることが理解できました。自然の恵みが、我々の生活を豊かにしてくれるのです。これからも自然との共生について考えてほしいと思います。

ねるねるウィークが始まります

6月10日(火)～17日(火)の1週間行います。今回は、生活リズムを見直すことに加え、“毎朝1分間 体や心にいいことをしよう(朝活)”と呼びかけています。早寝・早起き・朝活ができるよう子どもたちにアドバイスをお願いします。

